

(様式 1)

子供の居場所における体験活動支援 申込書

団体名			
代表者氏名		連絡先電話番号 ※日中に受信可能な番号または携帯電話番号	
所在地	〒		
子供の居場所の名称		子供の居場所 代表者氏名	
子供の居場所の活動場所	〒		
e-mail			
活動開始年月	年 月	活動の頻度	回 (6回以上の活動実績有□)
現在の活動内容			
参加条件 いずれか○	なし あり ※条件 例：ひとり親家庭、外国ルーツ児童、生活保護家庭など →条件 ()		
子供の参加人数	人	主な年代	

支援を希望する理由		
希望する支援の内容（具体的に） ※内容によっては協力先が見つからない場合もあります。		
実施希望日・時期（例：9月または10月の第4土曜日の午後） ※協力先の調整に時間要する場合がありますので、余裕をもって記載してください。		
希望回数 ※いずれか○	1回	2回
県による支援終了後の活動予定		

(様式 1)

【記入例】子供の居場所における体験活動支援 申込書

団体名	NPO法人〇〇		
代表者氏名	埼玉 太郎	連絡先電話番号 ※日中に受信可能な番号または携帯電話番号	
所在地	〒330-0000 さいたま市浦和区〇〇 1-2-3		
子供の居場所の名称	〇〇食堂	子供の居場所 代表者氏名	埼玉 二郎
子供の居場所の活動場所	〒330-0000 埼玉県さいたま市浦和区〇〇 1-1-1		
e-mail	aaaabbbb@pref.saitama.lg.jp		
活動開始年月	令和2年 4月	活動の頻度	毎月2回 (6回以上の活動実績有□)
現在の活動内容			
毎月偶数週の第3水曜日の夕方に、地元の子供を集めて子ども食堂を開催している。 ・月1回（主に第1週の金曜日）、〇〇公民館を会場としてフードパントリーを実施している。			
参加条件 いずれか○	なし あり ※条件 例：ひとり親家庭、外国ルーツ児童、生ごみ回収 →条件 ()		
子供の参加人数	30人	主な年代	小学生
参加条件を定めている場合、 詳細をカッコ内に記入。			
支援を希望する理由			
普段子ども食堂を利用している子供たちに、様々な体験をしてもらい、将来の夢や目標を持つきっかけづくりがしたいと思っていたが、具体的な手段がなかった。今回の支援制度を拝見し、是非利用したいと考え、応募させていただいた。			
希望する支援の内容（具体的に） ※内容によっては協力先が見つからない場合もあります。			
体験活動のメニューとしては、特に職業体験、野外活動、科学教室を希望する。普段子供たちが触れることのない職場体験や、農業体験、天体観測、プログラミング教室などを実施していただける団体があれば、是非お願いしたい。			
実施希望日・時期（例：9月または10月の第4土曜日の午後） ※協力先の調整に時間を要する場合がありますので、余裕をもって記載してください。			
9月または10月の第4土曜日の午後	希望回数 ※いずれか○	1回	2回
県による支援終了後の活動予定			
体験活動を支援してくださった企業様とのつながりを維持し、今後は3か月に1回程度のペースで体験活動を実施したい。また、いただいたつながりをさらに広げて、様々な体験活動を実施したい。			